

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（314））

2. 日時：平成29年8月31日 16時00分～18時25分

3. 場所：原子力規制庁 13階会議室C

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

山口安全管理調整官、正岡安全審査官、皆川係長、角谷安全審査官

事業者：

日本原子力発電株式会社：福山執行役員（発電管理室室長（許認可担当））

他6名

5. 要旨

（1）原子力規制庁より、有効性評価における事故シーケンスごとの格納容器圧力逃がし装置を使用する時間、使用する要因等について整理して説明することを求め、日本原子力発電より「シーケンス毎のベント時間、ベント要因」の資料を用いて、説明があった。

（2）原子力規制庁より、資料により説明のあった内容について了解した旨伝えた。

6. その他

提出資料：

・シーケンス毎のベント時間、ベント要因